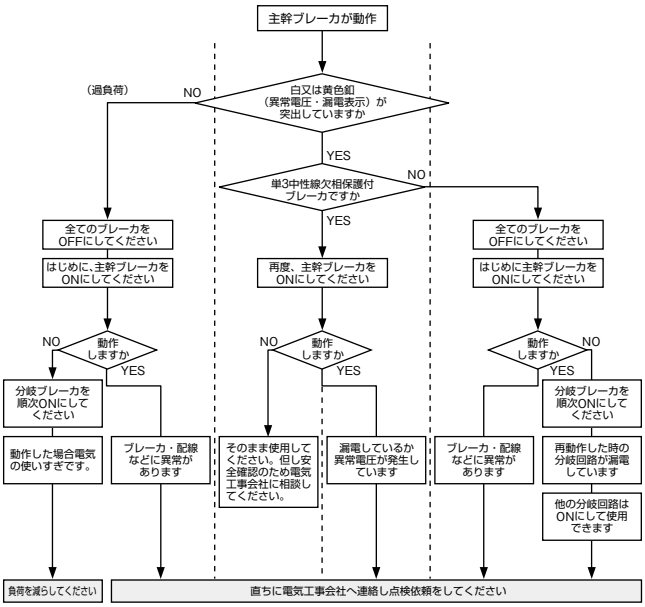
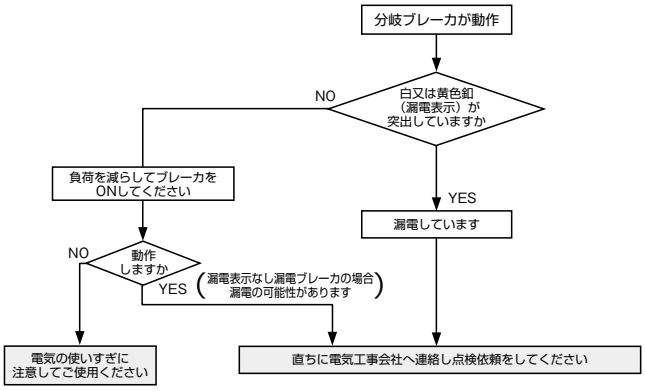
c.ブレーカが動作した場合の復旧手順フロー

主幹ブレーカが動作した場合



分岐ブレーカが動作した場合



3.標準分電盤の特徴

標準分電盤は小型高性能化・環境負荷の軽減・品質向上・短納期など各種市場ニーズに対応しています。

特に、HSB（小型高性能ブレーカ）を使用した盤では

・簡単な取り付け、取り外し、電線接続により、施工精度と工事作業効率の大幅な向上

・省スペース化により回路増設時のリニューアル用として最適等の特徴があります。

(1)部品の交換や機器の追加

要望事例

①機器・部品の交換、追加

対応・処置

①使用機器、取り付け方法が標準化されている。

②標準化により交換、追加部品・機器を素早く提供可能です。

③各種パーツには品番が刻印されており発注が容易です。
（ハンドル、主幹バー、分岐バー等）

(2)仕様の確認や打合せ

要望事例

①製品に対する不明点など問合せや相談

②過去に納入した標準分電盤の回路変更

対応・処置

①仕様、回路等が標準化されていることで、型番を指定いただければ迅速に各種対応が可能です。

②標準分電盤では品番を表示しており、過去に納入した盤の仕様が判ります。そのため、適切な機器・部品の選定が可能です。

③問合せ窓口が整備され、カタログ等にて仕様が周知されている。

(3)高機能・高性能の要求

a.負荷の焼損防止機能

事故事例

①単相3線式電路で中性線欠相事故の発生、100V機器が焼損

対応・処置

①標準分電盤の電灯回路の主幹は全て単3中性線欠相保護付を使用している。

b.コード短絡による火災の防止機能

事故事例

①コード短絡により火災事故が発生

対応・処置

①小型高性能分電盤に使用するHSB（小型高性能ブレーカ）はコード短絡保護用瞬時機能がついている。

c.盤の小型高性能化要求

事故事例

①トランス近くに設置した電灯分電盤で、分岐回路の短絡事故が発生、分岐ブレーカ（遮断容量1.5kA）で遮断できない。

対応・処置

①小型高性能分電盤の分岐に使用するHSB（小型高性能ブレーカ）は定格遮断容量が2.5kAである。